

大西 勇喜謙

総合研究大学院大学
先導科学研究科生命共生体進化学専攻 講師

〒 240-0193 神奈川県三浦郡葉山町湘南国際村
先導科学研究科棟 3F 301B
Tel: 046-858-1643
Email: oonishi_yukinori@soken.ac.jp

専門分野: 科学哲学

入門科目対応可能分野: 認識論, 研究公正, 科学技術社会論, 論理学

所属学会

Philosophy of Science Association, 日本科学哲学会、科学基礎論学会、応用哲学会

学歴

2003年3月 私立清風南海高校 卒業
2003年4月 京都大学文学部 入学
2007年3月 同学部 卒業
2007年4月 京都大学大学院文学研究科 科学哲学科学史専修 修士課程 入学
2009年3月 同課程 修了
2009年4月 京都大学大学院文学研究科 科学哲学科学史専修 博士課程 進学
2012年3月 同課程 研究指導認定退学
2015年3月 同課程 博士号取得 (文学博士)

職歴

2010年4月1日-2012年3月31日 日本学術振興会特別研究員 DC2
2012年4月1日-2013年7月31日 京都大学文学部 非常勤講師 (系ゼミナール)
摂南大学非常勤講師 (基礎教養演習)
2013年8月1日-2014年7月31日 フルブライト博士論文研究プログラム奨学生
(マイアミ大学訪問研究員)
2014年8月1日-2015年3月31日 京都大学文学部 非常勤講師 (系ゼミナール)
2015年4月1日-2015年9月31日 奈良先端科学技術大学院大学非常勤講師 (科学哲学)
2015年4月1日-2021年3月31日 総合研究大学院大学 助教
2021年4月1日-現在 総合研究大学院大学 講師

受賞歴

石本賞（日本科学哲学会）2013年11月23日

研究助成・外部資金

- ・ 日本学術振興会特別研究員（2010 - 2012）
- ・ フルブライト奨学金 日米教育委員会（2013 - 2014）
- ・ 若手研究者による国際ワークショップ 京都大学 1,900千円 2016年度.
- ・ 日本学術振興会 科学研究費 若手研究「科学的表象理論に基づく『データのモデル』の分析と科学的实在論論争への含意の検討」2018 - 2020年度. 総額3,250千円（研究代表）
- ・ 日本学術振興会 科学研究費 基盤B「科学的实在論論争の歴史的パースペクティブ上での再検討」2018 - 2020年度. 総額7,930千円（分担）

研究業績

学位論文

Yukinori Onishi, *Epistemological Analysis of the Scientific Realism Debate*, Doctoral dissertation thesis submitted to Kyoto University, 2015.

審査委員：伊勢田哲治（主査），伊藤和行，出口康夫

査読論文

- ・ Yukinori Onishi and Davide Serpico (Co-first). “Homeostatic Property Cluster Theory without Homeostatic Mechanisms: Two Recent Attempts and their Costs.” *Journal for General Philosophy of Science*, 2021 (Online-first).
- ・ Yukinori Onishi and Otávio Bueno (Co-first). “The likelihood ratio measure and the logicity requirement.” *Erkenntnis*, 2020 (Online-first).
- ・ 大西勇喜謙. 「科学哲学と研究公正」『地盤工学会誌』67-9 (740): pp. 52-59. 2019. (依頼あり).
- ・ Yukinori Onishi. “Defending the selective confirmation strategy.” *Studies in History and Philosophy of Science, Part A*. Vol. 64, pp.1 - 10, 2017. (DOI: 10.1016/j.shpsa.2017.07.001)
- ・ 大西勇喜謙. 「調和主義的観点からの实在論論争」, 『科学哲学科学史研究』第6号, pp. 39 - 59, 2012.
- ・ 大西勇喜謙. 「認識論的観点からの实在論論争」, 『科学哲学』44号, pp. 65 - 81, 2012.
- ・ 大西勇喜謙. 「实在論論争の舞台を考える—Van Fraassenの主意主義的認識論の検討を中心に—」, 『科学哲学科学史研究』第4号, pp. 65 - 83, 2010.

査読なし論文

- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争—信頼性主義を例に—」, *Nagoya Journal of Philosophy*, Vol. 10, pp. 37 - 57, 2011. (招待あり)

- ・ 大西勇喜謙, 「理論観の転回とモデル概念」, 『科学哲学科学史研究』 第2号, pp. 101 - 116, 2008. (サーベイ論文)

その他の原稿

- ・ 総合研究大学院大学 科学知の総合化特別委員会. 『科学知の総合化プロジェクト成果報告書』 2016年3月 (編集/一部執筆).
- ・ 大西勇喜謙, 「国際学会参加報告記」, 日本科学哲学会ニュースレター No.47, 2011.
- ・ 大西勇喜謙, 書評: A Metaphysics for scientific realism: Knowing the unobservable 『科学哲学科学史研究』 第5号, pp. 123 - 126, 2011.
- ・ 大西勇喜謙, 書評: Scientific representation: Paradoxes of perspective 『科学哲学科学史研究』 第4号, pp. 146 - 148, 2010.

口頭発表

2019

- ・ 大西勇喜謙. 「科学的实在論論争における観察装置をめぐる議論」 ワークショップ「観測・視覚化と实在」 日本科学哲学会年次大会. 慶應義塾大学三田キャンパス. 2019年11月10日.
- ・ Yukinori Onishi. “Deep Neural networks and the aim-of-science dispute.” CLMPST 2019. Czech Technical University, Prague, Czech, Aug 9th, 2019.
- ・ Yukinori Onishi and Davide Serpico. “Is everything fine if natural kinds are nodes in causal networks?” GWP 2019, Universität zu Köln, Feb 25th, 2019.

2018

- ・ Yukinori Onishi. “Neural networks and the aim-of-science dispute.” Workshop on the Diversity of the Scientific Realism Debate. Japan Association for Philosophy of Science Fall annual meeting, Nihon University, Nov 10th, 2018.

2017

- ・ 大西勇喜謙. 「科学的实在論論争の基本的論争構造」 第6回 量子基礎論研究会. 名古屋大学東京オフィス. 2017年3月7日. (招待あり)
- ・ Yukinori Onishi (speaker), Nozomi Mizushima, Kaori Iida, Kenji Ito. “Deeper Understanding through a Broader Perspective: Report of Research Integrity Education at SOKENDAI.” Asia and Pacific Rim Research Integrity Network (APRIN) Meeting, Hong Kong University, Hong Kong. Feb 21st, 2017.

2016

- ・ Yukinori Onishi. “Defending the selective confirmation strategy,” International Workshop on Scientific Realism, Kyoto University, Jul. 30th, 2016.
- ・ 大西勇喜謙, 「科学的实在論論争とは何か」 学融合セミナー, 総合研究大学院大学 学融合推進センター, 2016年5月18日.
- ・ 大西勇喜謙, 「科学における視覚表象についての科学哲学的関心」, ワークショップ「現代科学における視覚表象の認識論へ向けて」, 応用哲学会第8回年次大会, 慶應大学三田キャンパス, 2016年

5月7日。(招待あり)

- ・ Yukinori Onishi, “Defending selective confirmation strategy,” GWP 2016, Universität zu Düsseldorf, Germany, Mar 11th, 2016.
- ・ 大西勇喜謙「科学におけるコンピュータ・シミュレーションについての科学哲学的関心」コンピュータ・シミュレーションの科学論研究会, 国立科学博物館, 2016年3月5日.

2014

- ・ Otávio Bueno, 大西勇喜謙, 「尤度主義の技術的問題点について」科学哲学若手の会, 京都大学, 2014年9月28日.
- ・ Yukinori Onishi, “Misconception as a form of acceptance,” Southern American Japan Seminar, Florida International University, Mar.7, 2014.

2013

- ・ 大西勇喜謙, 「選択的实在論をいかに擁護するか」, 科学基礎論学会, 大阪大学, 2013年6月13日.

2011

- ・ 大西勇喜謙, 「新帰納法が提示する新たな論点」, 応用哲学会臨時研究大会ワークショップ, 京都大学, 2011年9月25日.
- ・ Yukinori Onishi, “The Scientific Realism Debate from the Epistemological Viewpoint,” 14th CLMPS, Nancy, France, Jul 19-26, 2011.
- ・ Yukinori Onishi, “Analyzing the Scientific Realism Debate from the Epistemological Viewpoint,” The First Japan-Korea Workshop on Philosophy of Science, Kyoto University, Kyoto, Feb 21-22, 2011.

2010

- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争—信頼性主義を例に—」, 名古屋哲学フォーラム, 南山大学, 2010年9月11日。(招待発表)
- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争—文脈主義を例に—」, 京都科学哲学コロキウム, 京大会館, 2010年7月25日.

2009

- ・ 大西勇喜謙, 「認識論的観点からの实在論論争」, 日本科学哲学会第42回年会, 高千穂大学, 2009年11月21日.

社会貢献

- ・ 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター専門調査員 (2017年度)
- ・ 先端科学研究科 学術講演会「ヴェールの向こう側：科学は我々に何を教えるのか」 2017年11月3日. 総研大葉山キャンパス
- ・ フルブライト奨学生渡航前オリエンテーション リソースパーソン, 2016年6月6日.
- ・ Florida Statewide Japanese Speech & Skit Contest 審査員, Florida International University, Mar.29, 2014.

査読担当

科学基礎論研究/科学哲学/ International Studies in the Philosophy of Science/ Contemporary Scientific Realism: Challenge from the History of Science, (T. Lyons and P. Vickers eds., Oxford University Press, under contract)/ Synthese

ワークショップ・シンポジウム企画

- ・ ワークショップ「データ同化の科学論へ向けて：研究実践から論点を探る」科学基礎論学会 秋の研究例会. 日本大学. 2019年11月30日.
- ・ シンポジウム企画委員. The 10th Anniversary International Symposium, Evolutionary Studies of Biosystems: History, the cutting edge and the future. Shonan Village Center, Feb 26-27, 2018.
- ・ ワークショップ：International Workshop on Scientific Realism. Kyoto University. Jul 30-31, 2016. Invited speakers: Juha Saatsi, Timothy Lyons, Teru Miyake, Ruey-Lin Chen, Karen Yan, Jonathon Hricko, Minwoo Seo, Rei Nouchi, Tomoko Ishida, Satoshi Kudo.
- ・ シンポジウム企画委員. 科学知の総合化プロジェクト最終年度シンポジウム「科学と社会とのより良い関係へ向けて」東京コンベンションホール. 2016年2月20日.
- ・ ワークショップ：Representation, reality, and the philosophy of special sciences. Japan Association for Philosophy of Science Fall annual meeting, Nihon University, Nov 6th, 2011. Invited Speakers: Szu-Ting Chen, Hisashi Nakao, Rei Nouchi.
- ・ ワークショップ「科学的实在論論争の諸論点を再訪する」応用哲学会臨時研究大会ワークショップ, 京都大学, 2011年9月25日.

担当科目

本務校

- ・ フレッシュマン・コース (分担：研究者倫理担当, 日/英)
- ・ 科学・技術と社会 I, II (分担：科学哲学担当, 日/英)
- ・ 生命科学と社会 I (分担：科学哲学担当, 日)
- ・ 科学と社会 副論文入門 (分担, 日)

非常勤

- ・ 研究者倫理 (東京電機大学, 日)
- ・ 研究公正 (東北大学, 分担：研究者倫理担当, 日)
- ・ Science, Technology and Society (国立台湾大学, 分担：研究者倫理担当, 英)
- ・ 科学哲学 (奈良先端科学技術大学院大学, 日)
- ・ 基礎教養演習 (摂南大学, 日)